

# 和歌山市「まちかどなら誘いやすい」4カ所 180人

西田比例候補 大阪の「医療崩壊」語り、総選挙勝利熱く訴え

和歌山市の4カ所で「まちかど演説会」が16日、行われコロナ禍でも全体で180人が参加。西田さえ子・比例代表近畿ブロック候補の訴えが大変好評でした。

演説会では県議、市議が弁士に立ち、県下での課題を中心にしながらコロナ対策や和歌山市で進むカジノ計画について訴え。西田候補はコロナ感染の拡大と長期化のもとで、女性の困難が拡大していることを自殺率やDV被害の拡大、失業や収入減を例に語り、「ジェンダー不平等をすすめる菅政権を倒し、野党連合政権ですべての人々の尊厳を守り、希望ある政治に転換を」と訴えました。

大阪での医療崩壊の実態について、クラスター発生が発生した高齢者施設で入院できず亡くなった例、自宅で亡くなる例が多発していることを時折り目頭を押さえながら紹介。それにもかかわらず病床削減をすすめ、後期高齢者の医療費負担を2倍にしようとしていることを「絶対に許すわけにはいかない」と怒りを込めて批判。総選挙での野党共闘の前進と日本共産党躍進を訴えました。

## ●決起集会と位置付けコロナ禍でも70人 日曜版も3人

オーストリート前の会場は、コロナ禍で屋内集会ができなかったため、この街宣を決起集会と位置づけ、広く呼び掛けて70人が参加しました。取り組みの中で「給付金の申請で民商にお世話になった」という飲食業経営者が日曜版読者3人を拡大。読者になった人が演説会に参加しました。南畑幸代市議が近所の人に声をかけると、「政権を取って消費税を5%に引き下げよう、というスローガンは私の気持ちにピッタリ」と初めてプラスターを持って参加しました。支部では入党のお誘いをする予定です。

参加者からは「素晴らしい、元気の出る演説会だった」「西田さんの訴えは筋が通っていて良かった」「コロナ禍では屋内演説会は取り組みにくい、まちかど演説会なら誘いやすい」などの感想が出されました。(和歌山県・推進ニュースより)



大門参院議員が訴え

## コロナ禍でも希望が見えた

### 大阪・堺 労働者のつどいに27人 1人が入党

2月から準備してきた大門実紀史参院議員を招いた「労働者のつどい」が16日、緊急事態宣言のため会場を移して地区事務所で開かれ27人が参加。密を避け、分散交流会形式で開きました。

大門さんはコロナ対策をめぐる菅政権との国会論戦、分断攻撃と中小企業つぶしの政策、野党共闘の前進とたたかいについて講演。分散交流会でも積極的な発言が続きました。

大門さんに入党を勧められ決意したYさんが友人を連れて参加。その方が入党を決意しました。

一人で事業をしているMさんは大門さんの話に感銘を受け、自分の考えと一致していると言ってくれましたが、入党は少し待ってくれということでした。3月に入党した人も参加。現役労働者の熱気あり、コロナ禍でも希望を見出した集いになりました。(地区ニュースより)

21近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 28(2021.5.19)